平成21年度「みどり香るまちづくり」企画コンテストの実施要綱

水·大気環境局大気生活環境室 平成 21 年5月 18 日

1. 趣旨

- 〇まちづくりに「かおり」の要素を取り込むことで、良好なかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援することを目指します。
- 〇良好なかおり環境により、清涼感や心安らぐような空間を、また、季節のうつろいを感じられるような空間を創出します。
- ○かおりの伝統をいかしたみどり香るまちづくりを行います。
- 〇二酸化炭素の吸収源となる「かおりの樹木・草花」を積極的に利用することにより地球温暖化防 止にもつながる「みどり香るまちづくり」を進めます。

2. 企画コンテスト概要

く募集主体>

主催:環境省

共催:(社)におい・かおり環境協会、(社)日本アロマ環境協会

協力:(社)日本植木協会

<応募主体>

地方公共団体、民間企業、学校法人、商店会、町内会等の住民団体や NPO など

- ※ただし、植栽場所を確保していること(植栽場所を所有していない場合は、その土地の所有者の 同意を得ていること)。また、植栽後の維持管理体制が明確であること。
- ※一つの主体において複数の企画を応募することも可能です。

<募集企画の要件>

○かおりの樹木・宿根草・その他の草花(花木に限らず芽吹きのかおりのする樹木等を含む、複数の樹種も可)を原則として 150 本(株)程度以上(かおりの樹木 30 本程度以上を含む。) 用い、街区・近郊地区等の「みどり香るまちづくり」を演出する企画を募集します。

- 〇植栽場所は、公共用地(広場、公園、歩道、廃棄物処理施設等)、民地(住宅地、工場、商店街、オフィス、ショッピングモール、屋上、駐車場等)、その他(学校、病院等)を対象とします。なお、屋内空間は除きます。
- ○企画は必ずしも新しい事業の一環である必要はなく、既存の住宅地、公園緑地の樹木・草花 を植栽、植え替えする企画も対象に含めます。
- ○「かおりの樹木」の例示として、「かおりの樹木」リスト(別紙2、別紙3)を掲載します。なお、本 リストに掲載したかおりの樹木は副賞として、表彰式後1~2ヶ月で容易に提供可能な樹木で す。

く表彰>

環境大臣賞(1点)

表彰状、副賞として企画に応じたかおりの樹木・宿根草・その他の草花の苗木・苗を原則としてすべて提供

協 会 賞(2点)

表彰状、副賞として企画に応じたかおりの樹木・宿根草・その他の草花の苗木・苗の一部を 提供

入賞(5点以内)

表彰状、副賞として企画に応じたかおりの樹木・宿根草・その他の草花の苗木・苗の一部を 提供

- ※一般の人がかおりの樹木・宿根草・その他の草花の恩恵を享受できない場所への植栽については、副賞の苗木・苗が提供されないことがあります。
- ※副賞の提供本数は複数の樹種の組み合わせ可能とし、樹種により本数を変更することがあります。
- ※植樹場所には、企画及び企画者の名称、受賞した賞の名称、本企画コンテストの主催・共催・協力者名称、樹木等の提供者名称等を記載したプレートを設置して下さい。
- ※募集主体側が負担するのは樹木・宿根草・その他の草花の苗木・苗の料金と輸送費のみです。植栽等にかかる経費、企画の名称等のプレート、支柱及び維持管理費は企画者側で負担してください。

<公表>

表彰された企画は環境省が公表し、また、応募した団体を「みどり香るまちづくり」への関心の高い団体として公表します。

<応募方法>

4. の応募要領を参照してください。

3. 企画のイメージ

■以下のようにかおりの樹木・宿根草・その他の草花を組み合わせるなどして、街区単位等の一 定の広がりをもつ全体として面的、線的な広がりを持つみどり香るまちづくりの企画となっていること(企画のイメージの例 参照)

【企画のイメージの例】

<商店街、歩道等>

- ○統一的なイメージのもと、「かおりの樹木」を道路の両脇に 250 本分配置し線的なかおり 環境を演出
- 〇商店街のアイストップとして「かおりの樹木」
- 〇「かおりの樹木・草花」を配置した商店街

<公園緑地、広場等>

- ○チョウや野鳥などが好むかおりの樹木や草花を植栽し、生き物との共生の場を演出
- ○四季おりおりのかおりの樹木を植栽し、癒しとくつろぎの場を創出
- 〇公園に300本の「かおりの樹木」を配置し、「かおりの名所」の演出
- 〇空き地等に「かおりの樹木」500 本を集中的に配置し、「かおりの樹木による吸収源の森」 を構成
- ○多くの人が集まるような地点にシンボルツリー的に「かおりの樹木」を植栽
- 〇既存の公園緑地をかおりで再生
- ○フジ等のツル植物を使ったかおりの演出

くビル等>

〇住戸の生け垣や棚などに「かおり樹木」を通り沿いに連続的に配置し面的なかおり環境を 演出 ○公開されているビル等の屋上緑化、壁面緑化によるかおりの演出

4. 応募要領

<募集期間> 5月18日(月)~10月30日(金) (当日消印有効)

<応募要件>

かおりの樹木・宿根草・その他の草花を原則として 150 本(株)程度以上(かおりの樹木 30 本程度以上を含む。)使用する街区・近郊地区等のかおりの演出であること(詳細については、2. 企画コンテストの概要の〈募集企画の要件〉をご参照下さい。)

<応募書類>(<u>電子データで提出して下さい。</u>また、作成に当たっては別紙1「記載要領」をご参照下さい。)

●応募に必要な書類(必須)

- (1)登録票(別紙 1)
- (2)企画の場所が分かる地図
- (3)かおりの樹木・宿根草・その他の草花配置図(平面図)
- (4)現状写真
- (5)主要な地点の成木時の予想図(鳥瞰図)
- (6)概要ペーパー(A3 判)(企画の紹介文(600~800 字)、使用する樹木等の本(株)数、企画の場所が分かる地図、使用する樹木等の配置図、現状写真、主要な地点の成木時の予想図等を組み合わせて作成)
- (7)植栽場所を確保していることを示す書類(その土地を所有していることを示す書類。所有していない場合は土地所有者の同意書など)
- ●その他参考資料となるもの(必要に応じて)

5. 選考の方法

く選考委員>

岩崎 好陽 (社)におい・かおり環境協会会長

宇田川 僚一 (社)日本アロマ環境協会理事

近藤 三雄 東京農業大学地域環境学部教授

佐藤 友美子 (財)サントリー文化財団 上席研究フェロー

畑 正高 香老舗松栄堂社長

藤田 八暉 久留米大学教授、(社)日本アロマ環境協会顧問

<企画評価の観点>

「企画のテーマ・ねらい」、「アピールポイント」についての記述からテーマ性や本コンテストの趣旨に合致しているか、また、「実行可能性」、「維持管理体制」、「一般の人への公開状況」などの観点から総合的に評価します。なお、提出して頂く図や写真も評価のポイントとします。

6. スケジュール(予定)

H21年10月30日 「みどり香るまちづくり」企画コンテスト応募締切

H22年1月 表彰

H22年2月~ 受賞者への樹木·宿根草·その他の草花の送付

7. 応募先・相談窓口及び問い合わせ先

<応募先・相談窓口>

<u>電子データを</u>電子メールまたは郵送で、(社)におい・かおり環境協会までお送り下さい。また、 応募に関して相談事項がある場合も(社)におい・かおり環境協会まで御連絡下さい。

E-mail: info@orea.or.jp | TEL:03-5835-0315 FAX:03-5835-0316

郵送先 〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-6-2 タカラビル 4 階 社団法人 におい・かおり環境協会 (担当:中辻、重岡、小川)

<問い合わせ先>

お問い合せは電子メールまたは電話で受け付けます。お急ぎでない場合は、電子メールでの お問い合せをお願い致します。

E-mail: KAORI-CONTEST@env.go.jp TEL:03-5521-8299 環境省水·大気環境局大気生活環境室(担当:鈴木、古川)

8. 参考情報

<「みどり香るまちづくり」企画コンテストホームページ>

以下のホームページにおいてこれまでの受賞作の概要などの参考情報がご覧いただけます。

http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html

平成20年度 「みどり香るまちづくり」 企画コンテスト

受賞企画概要

※みどり香るまちづくり企画コンテストホームページ

(http://www.env.go.jp/air/akushu/midori_machi/index.html)

において、平成18・19年度受賞企画の概要もご覧いただけます。

環境大臣賞

緑あふれ花かおりただよう コミュニティパークジベジ

南種子町

加緬

开翻小司 西之数中

- 企画のテーマ

センター種子島研究部の協力により行う、かお 本企画は、独立行政法人 薬用植物資源研究 りの植物を用いた都市公園の再生事業であると タカクマムラサキの保存 同時に、絶滅危惧種 拡大事業である。 種子島は、青い空と碧い海に囲まれた緑豊か なまさに宇宙を望む島です

宇宙センターから打ち上げられるロケットの見 地域 種子島 住民の憩いの場として整備されてきています 学場所として、最適な位置にあり、また、 宇宙ケ丘公園は、宇宙航空研究機構 が、住民の利用が多くない現状です

ク絶滅危惧 IA 類 (CR) 科名 クマツヅラ科 属名 また、種子島には、環境省レッドデータブッ ごく近い将来に絶滅する危険性が極めて は、葉にオイル分を多く含み、とてもいい香り ナガバムラサキがわずかながら自生していま 学名 Callicarpa longissima (Hemsl.)Merr. 別名 高い種と言われています。タカクマムラサキ ムラサキシキブ属 日本名 タカクマムラサキ すが、

現況図

丘公園に良好なかおり環境を創出しすてきな香 わたしたちは、絶滅危惧種であるタカクマム りを漂わせることで魅力ある空間として改善す ることで、住民の憩いの場となることを期待し 増殖に努めるととも ラサキの保護、

でまい2

美しさと香りの要素を取り込んだ都市公園の再生をすることで、地域の憩いの場とし ての魅力度アップを図ります =企画の効果:

特に、宇宙ケ丘公園に、タカクマムラサキとキンモクセイと桜を植栽することにより、 目で楽しめ漂うかおりで楽しめる空間として機能することを狙いとしています。 また、絶滅危種であるタカクマムラサキを保護、増殖することでふるさとの自然の保 镬につとめることを狙いとしています。

環境省レッドデータブック絶滅危惧 IA

日本名 タカクマムラサキ 属名 ムラサキシキブ属

科名 クマツヅラ科

類 (CR)

タカクマムラサキゾーン

タカクマムラサキ

学名 Callicarpa longissima (Hemsl.)Merr 別名 ナガバムラサキ

300本

タカクマ ムラサキ

松月扱ゾーソ



キンモクセイゾーン

キンモクセイ



みどりあふれ香り漂うパーク

松月桜・キンモクセイ・タカクマムラサキにより春・夏・秋に、美しい花に囲まれた、かおり漂うコミュニティ公園に再生する。



企画:稚内市歴史・まち研究会/北海道職業能力開発大学校



稚内市中央地区<彩北の桜路>と<香りとみどりの散策路>

コミュニティガーデンづくり 香りゃんせ诵り"

■企画の目的:最北端の稚内市は年間約600人の人口減少に加え、中心市街地では近年の大火とその不安(警戒感)、そして高齢化による商 店街の空洞化等の課題を抱えます。本企画は中央埠頭の新設フェリーターミナル(国内・国際)から縁少ない中心市街地、そして稚内森 林公園への通り(中央埠頭通り-中央8条通り-公園環状線(※))などの沿線を対象として、「香りづくり」・「緑化による景観づくり」・「まちの 活性化」・「人づくり」 を展開し、コミュニティガーデンを形成しようとするものです。 私たちはこの活動を市民に広く公開しアピールすることを通して まちの再生に意識をもって頂くと共に、 緑被や香りを通して安全にかつ安心感をもって住み続けられるまちづくりにつなげます。 また、 この活動を通 して稚内市の内外からの**稚内ファンや参加型ボランティアを受け入れるステージづくり**もすすめます。

■まちづくりのテーマ・コンセプト:中央8条通り等(※)を「香りゃんせ通り」へ/最北の国道と鉄路の「起点」を「香り」の起点に。

■香りのテーマ・コンセフト: 最北の香りにはラベンダーが最適 / 宗谷丘陵にはエゾ山桜と千島桜が彩りを添え / 藤、アルメリア、クレマチスが心躍らせる。



現地地図及び香りの樹木・草花配置図

日本アロマ環境協会賞

植栽配置予定図①

既存のキンモクセイとサッキを利用し、 ラベンダーを植栽します。



長野県



植栽帯

植栽配置予定図②

1571m

カベンダ

キンモクセイ

本事業の企画者

飯田市橋南地区の住民で組織する地域自治組織 ● 橋南まちづくり委員会

植栽带(中央分離帯) 植栽延長約600m

キンモクセイ

レベンダ

世帯数 1,345戸

長野県飯田市扇町35(橋南公民館) TEL 0265-24-0327

ラベンダー2,000本

使用する樹木

值栽予定 平成21年~平成25年

自分だちの出した生ごみが生まれ変わる。

ハーブのかほりを楽しむ笛を目









企画の目的

植栽予定地にはキンモクセイとその足もとにはサツキが植わっています。 しかし、近年このサツキが著しく弱ってきたため、 の1つであるりんご並木があります。この橋南地区では、生ご みの分別収集が平成14年11月から行なわれています。分別収 集された生ごみは、雄問として商品化されています。この雄問 この土作りのためにその堆肥を利用し、香りも楽しめ、美し、クラフトなどの利用価値もあるラベンダーを植え、既存の サツキと調和をはかりながら環<u>境整備を行います</u>。また、地域 住民が植栽・維持管理することにより、<u>地域コミュニティーの</u> 飯田市の中心市街地である橋南地区には、かおり風景100월 路樹の足もとにラベンダーを植え、街がラベンダー色と香りに <u>向上を図りたい。</u>全長600m幅20mの通りの中央分離帯の街 を自分たちの元へ循環し、活用させたいと考えました。現在、)つまれることにより、<u>中心市街地の活性化</u>につなげる。

①まちづくりへの対果

花の時期には、花や香りを楽しむ人が中心市街地に集まり、 語らいや賑わいを生み。また、いっしょに手入れや摘み取り 利用するためのクラフト作り等で地域の人々の間につながり を圧む。

②者の環境への効果 風に乗って香りが運ばれることで、街全体の雰囲気が雅に 香る街へと期待する。

家庭から出す生ごみを分別回収することにより、堆肥が作られそれを利用した土により香り豊かな街路へと遠ってくる。 自分たちの努力が目に見えることにより環境への関心が高 まることが期待できる。 ③住民への効果

香りのテーマ

詩人 岸田国士〈飯田の町に寄す〉に詠われている

りんごの花が香り 初夏はラベンダーが香り 飯田 美しき町 山近く 水にのぞみ 空明る 風句かなる町 この風の中に、春は、

秋にはキンモクセイが香り、たわわに実るりんご の香りがする。 何時も香りが溢れるまち、



現状写真





入亭

|風薫る通学・通園路

企画者 : 学校法人 スコーレ / 小岩井農牧株式会社

市民や事業者、行政と協働で取り組み、盛岡を訪れる人を楽しませてい ます。2007年時点では、ハンギングバスケット数が620個と、国内最多 岩手県盛岡市では姉妹都市ビクトリア市にならい、「花と緑のガーデン 都市づくり」を推進しています。具体的にはハンギングバスケットを軸に を誇っています。

の提案です。盛岡の冬は積雪20~30cmとそれ程多くないのですが、寒 さが厳しく-10数°Cまで下がります。そのため、植栽可能な植物が限ら れてしまいます。今回のテーマである「<mark>かおり」は、北国での緑化の構</mark> 本計画は、盛岡らしい花と緑の文化創出に向けた新たな視点で 成要素としてとっても大事なものだと考えます、

ます。この一画に提供される「みどりと香り」は、園児等の学校利用 今回の対象地は、通学および通園に利用されている歩道に面しており ベンダー、クレマチスの苗は、学生の授業やクラブ活動のなかで増殖し、 学・入園記念事業として行いますが、その際には地域住民にも参加を呼 びかけ、地域に愛される学校づくりの一環とします。散策が楽しくなる街 路は、「香りによるまちづくり」の新たな提案なのです。なお、タイムやラ それを使用します。また、維持管理についても同様に学生が主体となっ 者とともに近隣住民にも快適な空間を創出してくれます。 植樹は入 て取り組みます。

使用する植物一覧

ニッコウヒバ	$\overline{}$	40本)	40本) グリーンコーン	(38⊈)	38本) ヨーロッパゴールド (20本)	$\overline{}$	20本)
ツキヌキニンドウ)	10本)	10本) ラベンダー	(10本)	(10本) クレマチス	_	9本)
アベリア	\sim	6本)	6本) ジンチョウゲ	(5本)	5本) カリン	_	2本)
ニシキモクレン)	1本)	1本) タイム	(158株)		\rightarrow	₩

現況写真

















